

⑨ 中二郎五才袴着・清治髮置両
人祝帳

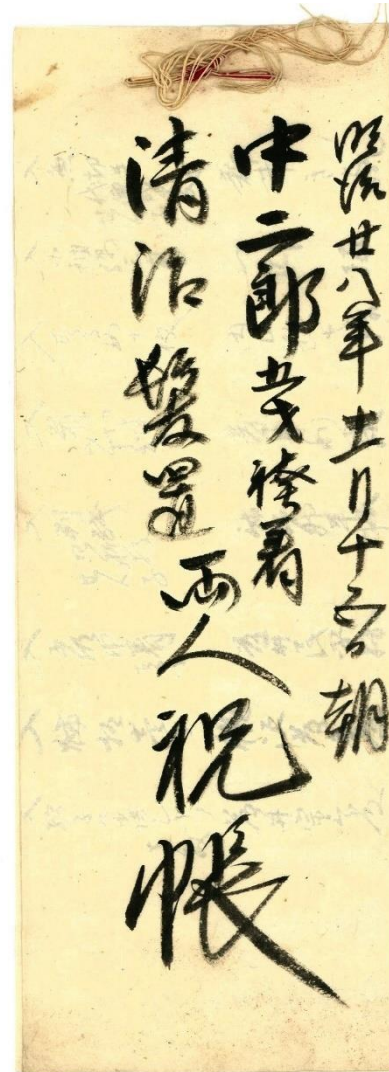
明治 28 年 (1895) 11 月 5 日

子供の成長儀礼である「七五三」にまつわる史料です。「七五三」は本来、武家や貴族の間で行われていた成長儀礼が、江戸時代に形を変えながら民間に普及していったものと考えられています。

「髮置き」は、乳児のうちは髪を伸ばさず頭をそっていたのが、これを機に伸ばし始めるという儀式といわれています。また「袴着」は初めて袴（大人の衣裳）を着せる男児の儀式で、立身出世への願いが込められたものといわれています。

藤井新兵衛家文書 P9201 No.690

(前橋市住吉町)



【⑨】 中二郎五才袴着・清治髮置両人祝帳

〔釈文〕

(表紙)

(二八九五)
明治廿八年十一月十五日朝

中二郎五才袴着

清治髮置

両人祝帳

入魚切手 代價弍十錢 新井きち様
 せん子
 入小袖綿三包 正 様
 入するめ十枚 内山惣七様
 入肴切手 藤井利七様
 入判紙 齋木卯平様
 せん子 四拾枚
 入子供巾着 藤井民平様
 入柿拾壹ヶ 椀沢藤平殿
 入綿子わたル小供シヤツ 藤井宗三郎殿
 壹枚

入 魚切手 新井きち様

代價弍十錢

せん子 (扇)

入 小袖綿三包 正 様

入 するめ十枚 内山惣七様

入 肴切手 藤井利七様

弍十錢

入 判紙 齋木卯平様

四拾枚

せん子 (扇)

入 子供巾着 藤井民平様

壹ツ

入 柿拾壹ヶ 椀沢藤平殿

入 綿子わたル小供シヤツ 藤井宗三郎殿

壹枚

五才 中二郎
三才 清治

二人袴着髪置祝と
して赤飯ツ一重ツ配ル

一赤飯壹重 龍越や
藤平様

一笠 鹿兒嶋
勝太郎様

一巾 齊木卯平様

一巾 藤井徳治様

一巾 境や久三郎様

一巾 藤井利七様

一巾 藤井民平様

一巾 藤井宗三郎様

一巾 大島久六様

五才 中二郎

三才 清治

二人袴着髪置祝と

して赤飯ツ一重ツ、配ル

一赤飯壹重 龍越や
藤平様

一同 鹿兒嶋
勝太郎様

一同 齊木卯平様

一同 藤井徳治様

一同 境や久三郎様

一同 藤井利七様

一同 藤井民平様

一同 藤井宗三郎様

一同 大島久六様

(後略)